3　授業の流れ

「部活動や学校で使う物は，どこの店で購入するといいのだろう」（本時４／７）

(1)　目標

①それぞれの販売方法の利点と問題点の話合いを通して，自分や家族の消費生活を振り返ることができる。(関心・意欲・態度)

②環境や資源を意識した購入の仕方や購入後の様子まで見通しをもって自分の生活に生かす工夫ができる。(創造・工夫)

(2)　授業構想

前時には部活動や学校で使う物を購入する際の選び方のポイントを学習している。そして，「店によって売られている商品が違う」ことや「同じ商品でも店によって価格が違う」ことに気付くことができた。

そこで，本時では，店舗販売と無店舗販売を学習した後，それぞれの利点と問題点を考え発表させる。そして，子供やその家族がどのような価値観をもって消費生活を送っているかを補足説明させることで，各自の生活を見つめ直し，環境や資源を考えた消費生活への意識を高められると考えた。

(3)　指導過程

学習活動（子供の思い・考え）	教師の支援　☆評価規準
1「店舗販売」「無店舗販売」とその例を知る。 店舗販売 ＜ 近くの○○店 　　少し遠くの△△店 無店舗販売 ＜ 訪問販売 　　通信販売［テレビショッピング，カタログショッピング など］	・環境や資源を意識させるため，店舗販売を「近くの店」と「少し遠い店」を出すことで，交通費(ガソリン代等)やアフターサービスなどの考えを引き出させる。
2　部活動や学校で使う物はどこで購入するか考える。	
部活動や学校で使う物はどこで購入しようか 利点と問題点に分けて話し合おう	
①店舗販売と無店舗販売の利点と問題点を発表する。 （下表）	・生徒が発表しやすいように，表に示す。 【☆①】 ☆自分の買い物の仕方を振り返りそれぞれの販売店の問題点や改善方法を考えようとしている。 （話合いの様子）
②自分はどこで購入する予定か考え発表する。 ・部活の用品は長く使いたいから，相談しやすい近くの専門店にする。 ・広告を活用するなど，普段から情報を入れておく。 ・少し遠い店舗はガソリン代が余分にかかるから返品や交換のないように慎重に買う。 ・店舗販売では買い物袋を持って行く。 ・通信販売で「○○円以上買うと送料無料」とあるけれど，本当に必要な物だけ買う。	【☆②】 ☆商品の購入には，前時に学習した商品選びのポイントに加え，環境や資源に配慮した買い物の工夫を理由も含めて述べられる。 （ノート）
3　本時の学習をまとめよう。 物品は，購入する前の計画が重要であり，購入後のことも考えないといけないな。また，環境や資源のこともこれからは考えて購入していきたいね。	

	店舗販売	無店舗販売	
	小売・専門店	通信販売	訪問販売
利点	・直接見て確かめられる	・行く手間が省ける ・通信販売限定の物がある	・行く手間が省ける ・直接見て確かめられる
問題点	・品切れの時がある	・思っていた物と違うことや送料が必要な場合がある	・他の物と比べられず，言われるがままに買ってしまう